

山口県日本海海区漁業調整委員会委員の委員候補者の推薦・応募の中間経過表（令和6年9月17日現在）

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
漁業者又は漁業従事者委員候補	1	南野 市治	77	男	漁業	昭和39年～ 一本釣り漁業に従事 平成7年 仙崎漁協 監事 平成12年 仙崎漁協 理事 平成15年 山口ながと漁協仙崎支店 運営委員 平成25年～ 山口県漁協仙崎支店 運営委員長 平成27年 山口県漁協長門統括支店 副運営委員長 山口県漁協 理事 平成28年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員 令和6年～ 山口県漁協長門統括支店 運営委員長	一本釣り	60年	○	大津水産共励会 会長 南野市治	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 364名	昭和39年から一本釣り漁業に従事。仙崎漁協では理事、令和6年から山口県漁協長門統括支店運営委員長を務めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に一本釣り漁業では長門一本釣り連合会北部会長として操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	2	河野 敏春	74	男	漁業	昭和43年～ 漁業に従事 平成18年 山口県漁協通支店運営委員・総代 平成24年～ 山口県漁協通支店運営委員長 令和6年～ 山口県漁協長門統括支店 副運営委員長 令和6年～ 山口県漁協長 理事	棒受網	56年	○	大津水産共励会 会長 南野市治	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 364名	昭和43年から漁業に従事。平成24年から山口県漁協通支店運営委員長を務めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に抄棒受網漁業・建網漁業では操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	3	濱谷 正	74	男	漁業	昭和41年～ 漁業に従事 平成21年 山口県漁協掛淵支店 運営委員 平成24年 山口県漁協掛淵支店 副運営委員長 平成30年～ 山口県漁協掛淵支店 運営委員長 令和3年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員	一本釣り	58年	○	大津水産共励会 会長 南野市治	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 364名	昭和41年から漁業に従事。平成30年から山口県漁協掛淵支店運営委員長を務めており地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に延縄漁業や棒受網漁業は操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	4	宇都宮 康彦	65	男	漁業	昭和9年～ はえ縄漁業に従事	はえ縄	27年	○	下関外海漁業共励会	旧下関市外海地区の	漁業の調整と漁場	山口県漁協の旧下関	平成9年にはえ縄や採介藻漁業に従事。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
						平成 18-23、27-29 山口県漁協伊崎支店 運営委員 平成 30 年～ 山口県漁協伊崎支店 運営委員長 令和 2 年～ 下関外海漁業共励会 監事 平成 15-19 山口県漁協伊崎支店 青壮年部部长 平成 24-29 山口県漁協青壮年部連合会下関支部長 平成 24～令和 2 山口県漁協青壮年部連合会副会長 令和 3 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員				会長 廣田弘光	山口県漁協の各支店の相互間の連絡協調を図り、水産振興と漁業の発展を期する	の管理、融和と協調で漁場の総合利用、漁場造成と繁殖保護、栽培漁業の推進	市外海地区の 8 支店 正組員 1889 名	平成 18 年に山口県漁協伊崎支店運営委員、平成 30 年から同支店運営委員長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として活躍。はえ縄漁業や採介藻漁業の操業実態を熟知しており、沿岸の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。長年青壮年部のリーダーとして活動し、地域内外の若手漁業者の相談役であり様々な問題を解決する知識を備えている。平成 30 年から下関外海漁業共励会メンバーとして地域の漁業調整にも携わっている。行動力と高い見識により地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
学識経験委員候補	1	仁保 宣誠	73	男	法人顧問	昭和 52 年 萩越ヶ浜漁協入組 平成 8 年 萩越ヶ浜漁協参事 平成 13 年 山口はぎ漁協入組 平成 17 年 山口県漁協入組 平成 18 年 山口県漁協参事 平成 24 年 山口県漁協専務理事 平成 28 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員 平成 30 年～ 山口県漁協相談役	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組員員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組員 2,394 名	萩越ヶ浜漁協、山口はぎ漁協、山口県漁協と長年の指導事業経験を通じ、種苗放流や資源管理の実践経験が豊富な他、参事、専務理事を務め漁業経営、漁業調整にも精通している。平成 24 年からは沿岸漁業と大中型まき網漁業の漁業調整において、沿岸漁業代表として重要な役割を果たしてきた。平成 27 年から山口県太平洋クロマグロ資源管理協議会会長を務めるなど、本県の資源管理、漁業経営に関する専門家として長年活躍しており、誠実な人柄で漁業関係者からの信頼も厚い。平成 28 年からは山口県日本海海区漁業調整委員会の学識経験委員に就任され、資源管理及び漁業調整に尽力されている。本人も海区漁業調整委員会委員としての職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向けて、委員としての活動に高い意欲をもっていることから適任である。

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
	2	中島 均	68	男	法人管理職	昭和54年 山口県庁入庁 平成23年 山口県農林水産部水産振興課長 平成26年 山口県農林水産部審議監 平成27年 山口県農林水産部理事 平成29年 山口県庁退職 平成29年～ 日本海海区漁業調整委員会副会長 平成29年～ 日本海・九州広域漁業調整委員会委員 平成29年 (公社) 山口県栽培漁業公社理事長 令和5年 (公社) 山口県栽培漁業公社退職 令和5年～ 山口県漁協吉佐統括支店参与	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 2,394名	昭和54年に山口県庁に水産技術職として採用。県内はもとより福岡県や島根県などの隣接県も含めた漁業操業や資源保護に関する漁業調整に携わってきた。トラフグやアマダイ、キジハタ、クロマグロなど山口県日本海側の重要魚種について漁業者等と連携し、新たな資源管理の枠組みを主導するなど資源管理や漁業制度、漁業経営に豊富な知識と経験を有する。平成29年から日本海海区漁業調整委員会副会長、国設置の日本海・九州西広域漁業調整委員会委員を務めるなど資源管理や漁業経営の専門家として長年活躍。漁業者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	3	若林 敏江	55	女	大学教員	平成13年 東京水産大学技術補佐員 平成14年 科学技術振興事業団 重点研究支援協力員 (遠洋水産研究所) 平成19年 遠洋水産研究所 外洋資源部外洋いか研究室 研究等支援職員 平成25年 東北区水産研究所 資源海洋部 浮魚いか資源グループ研究等支援職員 平成26年 水産大学校海洋生産管理学科 准教授 平成31年～ 水産大学校水産学研究科 海洋生産管理学科併任 教授 平成26年～ 日本海海区漁業調整委員会委員	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 2,394名	ケンサキイカやスルメイカを中心とした本県日本海側の重要魚種について、資源変動や生態、来遊状況、漁場開発などについての資源管理の研究、さらには、いかつり漁業の経営分析やいか加工品の流通の研究に長年携わっており、豊富な科学的知見を有し、本県日本海側の漁業に精通している。平成26年から日本海海区漁業調整委員会委員を務めるなど、本県漁業の資源管理に関する専門家として長年活躍しており、誠実な人柄で漁業関係者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員としての職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向けて、委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
中立委	1	黒川 祐希	43	男	弁護士	平成19年 弁護士登録 平成29年 山口県弁護士会副会長	—	—	—	山口県弁護士会 会長 鶴 義勝	弁護士及び弁護士法人の使命及び職務にかんがみ、その品位を	会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監	山口地区、下関地区、周南地区、宇部地区、岩国地区、萩・長門	平成29年度副会長を務めたほか、長年、「法律相談センター」の運営に深く関わってきた。誠実な人柄は会員全員が認め

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
員候補											保持し、弁護士及び弁護士法人の事務の改善進捗を図るため、会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務を行う	督に関する事務	地区 合計 183 名 法人会員 20 法人	るところである。人格見識とも申し分なく、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向けて、中立委員としての活動に追意欲を持っており、公平・公正な立場で積極的な発言が期待できることから適任である。